

西 西郷富士

～ 学び 愛し 翔る 西郷小 ～

文責 校長 栗本あかね

6月 情けは人のためならず いじめは絶対認めない

朝、校門の前に立って子供たちを迎えていると、6年生の男子児童が「先生、昨日〇〇さんに天才って言われた。」と嬉しそうに話しに来てくれました。詳しく聞いてみると、算数の時間に一緒に学習をしていて、どんどん正しい答えを導き出せるようになった時、「天才！」と言われたようです。そこには、友達が頑張っているようになったことを共に喜ぶ姿があります。きっと、6年生の教室では、自然とこのような言葉が出るよい雰囲気なのだと嬉しくなりました。

人の気持ちを温かくする言葉や行動がある一方で、心が痛くなる言葉や行動もあります。

いじめとは・・・

心が傷つけられたり、体が傷つけられたりすること

6月の全校朝会では、いじめについて話しました。「いじり」といってごまかすこと、相手が～をしたからと、理由があれば許されると思うことも間違いです。いじめは絶対に許されません。西郷小の職員は、いじめを絶対に認めません。いじめた人、いじめられた人、見ていただけの人、全ての人の幸せを願っているからです。自分が誰かを傷つけたことに気づいた時、「ごめんなさい」が言えることが大切です。いやなことをされた時に、いやなことでお返しをするのではなく、別の方法を考えてほしいと、子供たちには伝えました。

「情けは人のためならず」思いやりのある言葉や行動は、めぐりめぐって自分のところに届きます。家庭での言語環境も大切ですね。

プール開き



5月に4、5、6年生が一生懸命頑張ったプール掃除。神埼高校生徒8名のボランティアもあり、きれいになりました。6月2日に予定していたプール開きですが、天候がすぐれず、5日（金）にやっと2年生、5年生、1年生のプール開きができました。今後も、天候次第で予定通りにいかないこともあるかもしれません。2日、3日に計画をしていた学年は、入れなくて残念だったでしょう。そんな時に、子供がよく使う言葉があります。「ずるい」です。



「ずるい」：自分が得するように、ごまかしたり人をだしぬいたりするようす。

チャレンジ 小学国語辞典より



プールに入れなかった時に使う表現として、入れた人を非難する「ずるい」は適切ではありませんね。「うらやましい」という感情を表す言葉を使う方が、相手を傷つけることなく自分の気持ちを正しく表現できます。上手な言葉選びが、人との関係を良好にしたいと思います。大人になっても言葉選びに失敗することもあります。生涯勉強です。